

ゴヤ銅版画展「入館無料」

戦争の惨禍

Los Desastres de la Guerra

福岡市美術館

開館時間

9時30分～19時30分（入館は19時00分まで）

平成20年

7月1日（火）～6日（日）

- 主催：福岡スペイン友好協会
- 共催：福岡市美術館
- 後援：スペイン大使館／在福岡スペイン国名誉領事館
- 福岡県／福岡市／福津市／協賛企業各社他
- 出展協力：大分市美術館

混沌のスペインで、ゴヤは何を見たのか：

ココロに刻まれる、人間の裏側。



やはり野獣だ



真理は死んだ



同じことだ



来たるべきものへの悲しい予感



炎をくぐって逃げる

戦争の惨禍

ゴヤ銅版画展「入館無料」

ゴヤが作品に刻んだのは
決して単なる過去の戦争の記録ではない。

現代の我々が目を背けている人間の姿であり、
ゴヤからの叫びとも言えるメッセージなのである。

福岡スペイン友好協会

〈戦争の惨禍 Los Desastres de la Guerra〉1810頃～1820頃

本展でご覧いただく全80点からなるこの作品は、宮廷画家であったゴヤが注文や命令を受けず「自由制作」したものです。ナポレオンの支配に対するスペイン独立戦争、王政復古による極端な抑圧・専制政治、その後の混乱を中心的な題材とし、冷徹ともいべき画家の目でとらえて表現しています。作品はゴヤが亡くなる約8年前に完成したものの、正式に作品が発表されたのはゴヤの死の35年後、1863年の事でした。ゴヤが身の危険を感じ発表しなかったとも言われていますが、そのはっきりとした理由は今でも分かっていません。



理由があろうとなかろうと／15.5×20.5cm
Con razon ó sin ella.



一本のナイフのために／15.5×20.5cm
Por una navaja.



なぜだか理由もわからずに／15.5×20.5cm
No se puede saber por qué.



彼らは血筋が違うんだ／15.5×20.5cm
Si son de otro linage.



奇妙な信心！／17.5×22cm
¡Extraña devocion!



大衆の利益に反して／17.5×22cm
Contra el bien general

フランシスコ・デ・ゴヤ (1746～1828) は、スペイン北東部サラゴサ近郊の貧しい家に生まれました。初期の画学習ののちイタリアに渡り、帰国後は宮廷画家として活躍。〈裸のマハ〉〈着衣のマハ〉〈カルロス4世家族〉等の代表作は世界中の人々に知られています。晩年の作品では絵画表現における先駆的な革新性が注目され、絵画のみならず版画の分野でも類まれなる才能を発揮したスペインを代表する巨匠です。

●特別イベント

伊集院 静氏講演会「入場無料・先着順」

会期：平成20年7月5日(土)14時～15時
福岡市美術館 1階講堂にて、
作家 伊集院静氏の講演会を行います。

●開催場所

福岡市美術館 特別展示室B

所在地／福岡市中央区大濠公園1-6
開館時間／9時30分～19時30分(入館は19時00分まで)
7月6日(日)は17時30分まで(入館は17時00分まで)
TEL.092(714)6051

●交通アクセス

福岡市営地下鉄＝「大濠公園駅」下車、3番出口より徒歩10分。
「六本松駅」下車、2番出口から徒歩10分。
西鉄バス＝「城内・美術館東口」下車、徒歩3分。
「赤坂3丁目」下車、徒歩5分。
駐車場／美術館駐車場＝20台(無料)9:30～17:30
舞鶴公園駐車場＝75台(有料)8:00～20:00
護国神社駐車場＝246台(有料)7:00～21:00

●お問い合わせ

福岡スペイン友好協会

〒811-3221 福岡県福岡市若木台1-13-1
TEL.092(957)6680 FAX.092(957)6693
メール：info@fukuokaspain.com
http://www.fukuokaspain.com/

